

浮世絵を味わう

— 上方浮世絵の歴史と鑑賞 —

浮世絵は世界に誇るべき文化遺産ですが、版行された土地によって「江戸絵」と「上方絵」に分けられることについては意外と知られていません。有名な写楽や歌麿、北斎、広重等は江戸で活躍した絵師ですので、上方絵についてはあまり知られていないのが現状なのです。しかし、上方浮世絵の作品を鑑賞してみると、江戸とは異なった独特の風情があります。本講座では、上方浮世絵の世界をじっくりと味わっていただきたいと思います。

講師： 北川 博子 大阪商業大学非常勤講師
阪急文化財団勤務

開講時間： 午後 2 時 ~ 3 時 30 分 (全3回)

開講日：

◆ 2月 9日〈木〉上方浮世絵の歴史と特徴

◆ 2月16日〈木〉国内外の上方浮世絵コレクションについて

◆ 2月23日〈木〉上方浮世絵を読み解く

◆ 受講料：一般 2,000円 ◆ 定員：40名

会場：大阪商業大学GATEWAY4階
ネットワークレクチャールーム

主催：大阪商業大学商業史博物館



講師紹介

北川 博子 (大阪商業大学非常勤講師・阪急文化財団勤務)
甲南女子大学大学院博士後期課程単位修得退学。大阪府立大学にて博士(言語文化学)取得。江戸から明治時代にかけての浮世絵、演劇、文学などを「上方」を基点に研究。著書に「上方歌舞伎と浮世絵」(2011年12月、清文堂出版刊)、『上方役者絵集成』第1~5巻(阪急学園池田文庫)、『関西大学図書館所蔵上方役者絵画帖』(関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センター)など。

受講者
募集中